

キャリアイメージ（児童福祉司）

職位区分	異動・配属		専門研修・法定研修	研修制度	キャリアに関わらず受講（任意研修）
技師級 主任技師級	<p>■ 4年程度でジョブローテーションを行い、児童福祉・社会福祉など、各分野での対人援助業務の基礎的な技術・知識を習得するとともに、適正を見出します。様々な分野での異動を経験する中で、幅広い職務経験を積み重ねていきます。</p>	<p>技師級・主任技師級</p> <p>ジョブローテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ことども家庭相談センター ・ 福祉事務所 ・ 市町村人事交流 ・ 本庁 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ことども家庭相談センター新任職員研修 ・ 新任ワーカー研修 ・ 一時保護所体験実習 ・ 全国児童相談所研究会新任児童福祉司ワークショップ ・ 児童福祉司任用前研修(法定) ・ 児童福祉司任用後研修(法定) 	<p>全体研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用職員研修 ・ 2年目職員研修 ・ 3年目職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内研修会 ・ペアレントトレーニング研修 ・ 被害確認面接研修
主査級	<p>■ 行政経験を通じ、社会の変化を捉え、主体的に課題設定できる力や創意工夫する力を養いながら、福祉職としての専門能力の幅を広げます。市町村への人事交流を経験する可能性もあります。</p>	<p>主査級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ことども家庭相談センター ・ 福祉事務所 ・ 市町村人事交流 ・ 本庁 など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中堅職員研修（8年目） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内事例検討会 ・ 中央・高田センター合同研修 ・ ベテラン職員にケースワークを学ぶ
係長級	<p>■ 係長級は、監督者として部下の指導・育成とともに、福祉職員としての能力・資質に磨きをかけ、実務の中心的役割を担います。</p>	<p>係長級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ことども家庭相談センター ・ 福祉事務所 ・ 本庁 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教育担当児童福祉司任用前研修（法定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係長研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜外部機関の研修会に参加
出先課長・本庁補佐級	<p>■ 出先課長・本庁補佐級では、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務を推進します。人材育成など組織マネジメントを行います。</p>	<p>出先課長・本庁補佐級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ことども家庭相談センター ・ 福祉事務所 ・ 本庁 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童福祉司SVを育成する立場にある指導的職員へのブロック研修 ・ 児童福祉司SV研修(3年目以降) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課長補佐研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラウマインフォームドケア学習会 ・ 子ども虐待対応母子保健関係職員指導者研修 ・ 教育関係・児童福祉関係職員合同研修
所長・本庁課長級	<p>■ 所長・本庁課長級では、所属長として統括する役割を担って業務を推進します。県全体を俯瞰して調整する役割も担います。</p>	<p>所長・本庁課長級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ことども家庭相談センター ・ 福祉事務所 ・ 本庁 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童相談所所長研修(法定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課長研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性加害・性被害に関する研修 等